

# 巨大都市・複合災害に対する 建築・情報学融合による エリア防災活動支援技術の 開発と社会実装

2017年

3.17 [金]

15:00-18:00

場所 | 工学院大学 新宿校舎3階 アーバンテックホール

主催 | 工学院大学 総合研究所 都市減災研究センター (UDM)

## 第1部

### 平成28年度ブランディング事業成果報告

15:00-17:00

#### あいさつ

佐藤光史 (工学院大学 学長)

#### 「巨大都市・複合災害に対する建築・情報学融合による エリア防災活動支援技術の開発と社会実装」の事業概要

久田嘉章 (工学院大学建築学部 教授・総合研究所 都市減災研究センター長)

#### 研究テーマの概要と成果報告

##### テーマ1「大都市中心エリアを対象としたオールハザード対応キットの開発」

村上正浩 (工学院大学建築学部 教授・テーマ1リーダー)

福田一帆 (工学院大学情報学部 准教授・テーマ1サブリーダー)

##### テーマ2「機能継続・早期復旧を可能とする大地震対策建築モデルの開発」

山下哲郎 (工学院大学建築学部 教授・テーマ2リーダー)

田村雅紀 (工学院大学建築学部 教授・テーマ2サブリーダー)

##### テーマ3「エリア防災拠点をつなぐ自立移動式災害対応支援ユニットの開発」

中島裕輔 (工学院大学建築学部 教授・テーマ3リーダー)

水野 修 (工学院大学情報学部 教授・テーマ1サブリーダー)

#### 質疑・議論 (16:35-17:00)

## 第2部

### 招待講演会

17:00-18:00

#### 「高性能計算を利用する大規模数値解析手法と 都市モデル構築手法の研究開発」

堀 宗明 先生 (東京大学地震研究所 巨大地震津波災害予測研究センター長・教授)

#### 「3次元GISを基盤とした多分野・多主体協働の 都市デザイン・マネジメント研究の試み」

佐土原 聡 先生 (横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授)

終了後、交流会を予定

